

校長室だより

No. 30

平成28年12月2日(金)

# 強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよし かざ  
加藤嘉一

## 強くなれ - マラソン大会への願い -

近頃「心を鍛える機会が減った」と話す人がいました。そうなのでしょうか。ただし、心を鍛えることは本当に難しい。

子供の体力については、先日文科省の体力テスト統計結果から、運動能力の分布の二極化が心配されているというニュースを見ました。これは、わたしも心配しています。学力も体力も二極化傾向のある学年はないかいつも気にしています。

マラソン大会の後ろのほうになってしまった経験のある先生が、「みんなから『がんばれ』と応援してもらうことはありがたいのだけれど、マラソンのつらさに加え、その応援の中を走るのもつらかった。」という話をしてくれました。



その気持ちもよくわかります。わたしは、今年の4～6年の開会式で、「マラソンは苦しい。苦しい競技だからこそ、自分の心と体がどれだけ強くなっているかを試すことができます。今日は転んで遅くなることもあるかもしれませんが、そんなときでも、どれだけ自分の心と体が強くなったかを試す日です。」と話しました。

かけ足週間やマラソン大会のように、自分との戦いの行事を大切にしたいと思います。個々の心の成長、体力の伸長を願うとともに、強くなった自分を自覚できる日となってほしいと思います。そんなことを考えていたら、マラソン大会が終わった日の昼放課、「マラソン終わっちゃった。もう運動場で走らなくなるな。」とつまらなそうに言う子の言葉を聞きました。子供は偉大でした。

## ちゅうぶえん筆検定 本年度合格者誕生！

11月から始まった「ちゅうぶえん筆検定」。担任の先生の合格シール3枚と校長先生の合格シール2枚をもらえないと、「合格賞」がもらえないこの検定。なかなか検定する時間が取れませんので、その少ない機会のなかで、これだけ

三〇度の熱のある日も  
いとんだ マラソンの道  
人生は マラソン  
道は 果てしなく 続いている  
しかも きびしい  
九九九の苦を 一つ避けても  
一〇〇〇には行けぬ マラソンの道

東井 義雄

の枚数の合格賞をもらうのは並大抵ではありません。そして、11月30日に第一号の合格者が27人生まれ校長室で表彰しました。これから続々と合格者が出てくることを期待しています。

昨年も感じましたが、大きくなるにつれ、癖を直し、正しい持ち方に直すのは苦しいものですね。よくない癖がついてしまった人も、あきらめずに正しい持ち方を意識させていきたいと思います。もう一度、正しい持ち方を身につけるグッズも紹介します。



【校長室で合格認定！】



ダブルクリップを利用



ヘアゴムを利用



2本のえん筆を利用

- ① 箸のようにえん筆を持ち、動かす。
- ② 動かない方のえん筆を抜く。

### 木の気持ちよさに触れて学ぶーベンチの改修感謝 蜂須賀さんー

外で座るには気持ちのよいスペースが、本校にはあります。それは、中庭とFBC花壇の側の木のベンチスペース。

12月に入り、風が冷たくなってきたので、ここに座る子供は少し少なくなりましたが、花や生き物の観察(理科)、絵をかく授業(図工)など、春から秋にかけてここを使って子供たちが活動したり談笑したりしています。



【蜂須賀さんと明生クラブの方々】



ところが、机とベンチは木でできており、長年外で使っていますので、シロアリが巣を作り、留め具がすぐ外れてしまうくらいぼろぼろになっていました。大変長くて重いすですが、これを明生クラブの元会長・蜂須賀さんが、改修してくださり、明生クラブの方々とともに運んでくださいました。

机と長いすが新品と見違えるようにきれいになり、子供が気持ちよさそうに座っています。本当に地域の方に助けていただいています。ありがとうございます。これからも大切にに使わせていただきます。